Atruko Kudo Mail Magazine 204

2014.05.17

●キリストが賛美される

お元気でいらっしゃいますか?5月に入ってからのドイツは、雨風の多い不安定な天気が続いていましたが、今日は久しぶりに青空が広がり、庭の花々や透き通るような新緑が美しく輝いています。



4月下旬にはパリ日本語教会での奨励奉仕をさせていただき、5月1日には、ノイミュンスターで行われた「5月の聖書セミナー」に参加しましたので、皆さんにお分かちさせていただきます。

●キリストが賛美される

パリプロテスタント日本語キリスト教会は、バスティーユと市庁舎の間、マレー地区の、美しいドーム型のパリ 市指定歴史建造物で礼拝を守っています。



パリ日本語教会から、4月27日の「奨励」奉仕依頼をいただいた時、昨年11月に開催した賛美セミナーの内容を要約してお話しさせていただくつもりでした。

けれども、セミナー以降も、みことばからさらに多くのことを示されるようになり、最終的に「正しい者の賛美」「キリストが賛美される」「賛美のいけにえ」の3つのポイントからお話しをさせていただきました。その二つ目のポイントでお分かちした、「キリストが賛美される」ことに気付かされた時、私の礼拝での賛美への姿勢は大きく変わりました。

詩篇 22 篇は、キリストの十字架の受難の預言の詩篇です。その 22 篇の 22 節では、イエス様がこう語っておられます。「私は、御名を私の兄弟たちに語り継げ、会衆(⊘カハール)の中で、あなたを賛美しましょう。」

どうして、ここが、イエス様のことばだと分かるのかは、ヘブル人への手紙にこのことばが引用されているからです。

ヘブル人への手紙 2章 11、12節

「聖とする方も、聖とされる者たちも、すべて元は一つです。それで、主は彼らを兄弟と呼ぶことを恥としないで、こう言われます。『わたしは御名を、わたしの兄弟たちに告げよう。教会(④エクレシア)の中で、わたしはあなたを賛美しよう。』」*カハール=エクレシア



つまり、イエス様が、教会の中で、父なる神を賛美されるのです!どうやって?私たちの口を用いてです!教会はキリストのみからだであり、私たちは、ひとりひとりがキリストの体の器官だからです。私はこのことを発見した時に、翌週からの礼拝での賛美への姿勢が一変しました。イエス様が私のくちびるを通して、父なる神に歌っていることをものすごく意識するようになりました。そして、一言一句心を込めて歌うようになりました。

私たちのドイツ人教会には、いわゆる「調子外れ」の人がたくさんいます。特に、牧師のひとりと長老のひとりは「大調子外れ」、大が付くのは、外れた音もなんのその、大きな声で、心を込めて高らかに



歌うからです。しかしその外れた音は、音楽家の私も全く気になりません。それどころか、彼らの心からささげる賛美に、一緒に唱和しながら、時に心を揺さぶられます。それは、御霊にあって心から神をほめたたえているからなのだと思います。

皆さんも、キリストが皆さんの口を通して父なる神を賛美されることをいつも覚えて(調子外れだってよいのです!)、心を合わせ、ひとつ御霊にあって、高らかに主を賛美していってください!

●マイコンフェレンツ(5月の聖書セミナー)

ハンブルクよりさらに 1 時間ほど北にあるノイミュンスターでは、毎年 5 月 1 日の祭日に、聖書セミナーが開催されています。今年のテーマは、マーティン&エルケ・カンフイスご夫妻による、「極東宗教の社会と教会への影響」(Einfluss fernöstlicher Spiritualität auf Gesellschaft und Gemeinde)についてでした。

マーティン師は、もと僧侶の修行を積んだほどのチベット仏教徒、奥さんのエルケ師はニューエイジの信者でした。しかし、憐れみの神は、そのふたりを同じ日に暗闇の霊の縄目から救い出し、極東宗教やスピリチュアリズ



ムの危険性を伝え、またバイブル・カウンセリング の働きへと導いてくださいました。

ふたりは、どうしてさまざまな宗教やスピリチュア リズム、オカルティズムが存在するのか、またそれ らがどこから発しているのかを、聖書のみことばか ら説明してくださいました。

フォーム自体が霊を呼び込むヨガ、インヤン(陰陽)、 仏教的な方法の瞑想などが、その危険性を知らない がために、教会の中にも入り込んでいることを指摘 されていました。日本では、多くのクリスチャンも 多分それほど疑問視していないと思われる、針、指 圧などのことについても言及されていました。

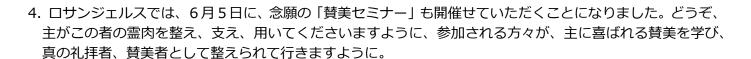
私は、これまで、さまざまな音楽のルーツを調べ、またそれらの音楽がどこから来たのかを学んできましたが、 非常に相通じるものがありました。カンフイスご夫妻は、多くの著書を出版されていますが、残念ながら、今の ところ、ドイツ語だけのようです。ドイツ語がお分かりになる方で、興味のある方は、是非次のサイトをご覧く ださい。

http://www.gateway-ev.de/ueberuns/referenten_d.asp

西海岸ツアー

いよいよ、3日後の5月19日にカリフォルニアに向かいます。 どうぞ以下の事柄のためにお祈りください。

- 1. 主が多くの方を集めてくださり、未信者の皆さんには救い を、信者の皆さんには、霊の慰め・励ましを与えてくださ いますように。
- 2. 日本から駆けつけてくださるピアニストの野田常喜さんと、ドイツから向かう私のフライト、霊肉の守りのために。
- 3. 現地で、たくさんの祈りを積んで準備しくださっている オーガナイザーの先生方、兄弟姉妹の皆さん、教会に、絶え ず霊の注ぎがありますように。



※西海岸の予定はホームページのスケジュールからご覧ください。(ロサンジェルスの予定は、2,3日後までにはアップされる予定です。)



CD「よき力に守られて」は、購入してくださった多くの皆さんから好評をいただき、驚きとともに、主に感謝しています。賛美セミナーの DVD,CD は、個人だけでなく、複数の方々との学びに用いてくださっていることをお聞きし、この学びが広がっていることをとても嬉しく思っています。

音楽 CD,賛美セミナーの CD,DVD,書籍は、すべてホームページのオンラインストアから購入できますが、前回もお伝えしましたように、複数の商品を購入されるときに不具合いを生じる場合があるようです。その場合は、どうぞメール、ファックス、電話でお申込みください。

美しい5月、主の溢れる恵みが皆様の上にありますように!



Atsuko Kudo

